

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	08 06 11	中期総合計画主要施策番号	2-03	担当課	部・課	農村振興課	
事業名	信州農業入門事業			内線	3107		
				E-mail	noson@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	H23	～	H23	根拠法令等			
実施方法	委託（農協観光）、直接実施					国庫・県単	県単独事業

  

事業の概要等	目的（必要性）	都市では農業ブーム、雇用情勢の悪化などにより、農業を職業として選択する傾向が強まっており、これを農業の担い手確保のチャンスと捉え、県外から農業を始めたい若者を呼び込み、就農希望者が農業に従事できるよう支援し、より多くの人材の農業定着を促し、本県の農業生産力の維持を図る。				
	対象	都市部の就農希望者				
	目指すべき姿	就農希望者の状況や習熟度に応じ、従来の研修事業へ移行させ、自営就農者、農業法人への雇用就農者の確保につなげる				
	事業内容	<p>(1)信州農業体験ツアー 関東圏の就農希望者を対象に、長野県農業の現状、研修制度等の理解を深める体験会を、農大研修部を拠点に実施。体験会は、産地や先進農家・農業施設等を視察し、夜間は就農相談を行い、農業への理解を深め農業研修へ誘導し、着実な就農を目指す。</p> <p>(2)信州農業ゼミ 関東圏の学生・社会人の就農希望者を対象に東京事務所（横浜市）等を拠点として日曜講座を開設し、農業の基礎を学び、農業への理解を深め農業研修へ誘導し、着実な就農を目指す。</p>				

  

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・報償費（講師謝金）：63千円 ・旅費（講師旅費）：56千円 ・役務費（チラシ作成）：210千円 ・委託費（体験ツアー委託）：850千円 ・使用料（ゼミ会場使用料）：53千円
	最終予算額（A）		千円	-	1,337	-	
	決算額（B）		千円	-	1,232	-	
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	-	1,232	-	
	概算人件費	従事する職員数	人	-	1.50	-	
	概算人件費（C）		千円	-	12,387	-	
	概算事業費（B(H24はA）+ C）		千円	-	13,619	-	

  

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・ツアー、ゼミ参加者のうち、2名が農業大学校研修部のアグリターン農業研修に参加した。  <効率指標 算出式> 概算事業費 / 参加者数
	信州農業体験ツアー(成)	人	-	28	-	
	信州農業ゼミ(成)	人	-	61	-	
	<効率指標(単位当りコスト等)> 参加者数	千円/人	-	153	-	

  

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価		評価区分
	信州農業体験ツアー 2回開催 信州農業ゼミ 横浜2回 東京2回開催		・信州農業体験ツアー 2回 28名 ・信州農業ゼミ 4回 61名		b 期待どおり

  

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 (完了)	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

  

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	・参加者アンケートでは、実際の農家の話を聞くことができて良かったなど概ね好評であった。 ・もう少し農業体験をしたかったとの意見もあったことから、農大研修部での農作業体験の時間を多くするなど内容について検討する。 ・信州農業ゼミでは、新規参入農家を講師にしたので、より興味を持って話を聞くことができ、充実した内容となった。				
	特記事項					